

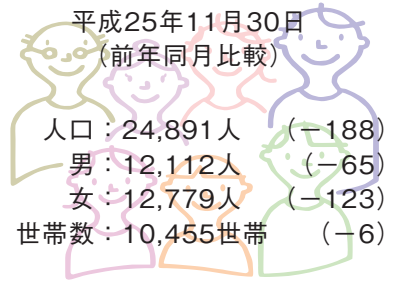
今月の題字



熊野中学校2年生
門脇 みなみさん

町の人口と世帯数

平成25年11月30日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)



熊野中学校 1年 宮本 加奈さん

【評】ピーマンをデザイン化した平面構成です。動きやアクセントを取り入れながらも、鮮やかなコントラストでまとめたピーマンから、新鮮なイメージが伝わってきます。



熊野中学校 2年 岡崎 留衣さん

【評】行書のなめらかな線がよく書けています。部員たちはいつも「感謝の心」を念頭に部活を頑張っています。

熊野の自然 (292)

ハハコグサ

(キク科)



春の七草の一つ「御形」が、このハハコグサです。

中国で無病息災を願って旧暦の正月七日に七草粥を食べる風習があり、平安時代に日本に伝わりました。

平安時代の七草の種類は不明ですが、鎌倉時代には現在の七草があげられています。江戸時代には、年中行事として定着しました。

「御形」は昔、子供が無事育つことを祈って白絹で作った母子の人形です。それに、この草を入れた餅を母子餅と呼び供えたので「母子草」の名が付いたとも言われますが、他説もあります。

更に、ホオコグサがハハコグサに転訛し、母子草の字を宛てたという説もあります。ホオコグサについて

も、花が結実し蓬け起つ様子から、また若苗が白い布製の守り人形(這子)に似るからなど諸説があります。

花期は4〜6月。花の黄色は色あせず、ドライフラワーに最適です。20年以上も前の押花が今も綺麗です。

根元で枝を分け数本の茎を立てます。高さは15〜30cm。綿毛が生えビロード状の白っぽい葉が互生します。

この葉を餅に入れたのは綿毛を繋ぎにしたからです。日本全土、中国、東南アジアなどに広く分布する越年草です。農耕とともに有史以前に中国から帰化したとも言われ、人里近くの田畑の周りに多く見られます。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

おすすめイベント
ピクアップ
【印象派を超えて 一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで】

県内市町発!!

オランダのクレラー・ミュラー美術館所蔵作品を中心に、スーラ、シニャック、ゴッホなどの点描主義、その究極の到達点であるモンドリアンの幾何学的抽象絵画までの名品約90点を展示します。
時 1月2日(木)〜2月16日(日)午前9時〜午後5時
会期中無休
¥一般1千300円、高・大学生900円、小・中学生以下無料
所 広島県立美術館
所 広島県立美術館
〒731-4292 221-6246



フィンセント・ファン・ゴッホ 《種まき人》
1888年 油彩・カンヴァス
クレラー=ミュラー美術館蔵
© Collection Kröller-Müller Museum, Otterlo, the Netherlands

(商工観光課)